

# 暮らしやすい間取りに変えよう！

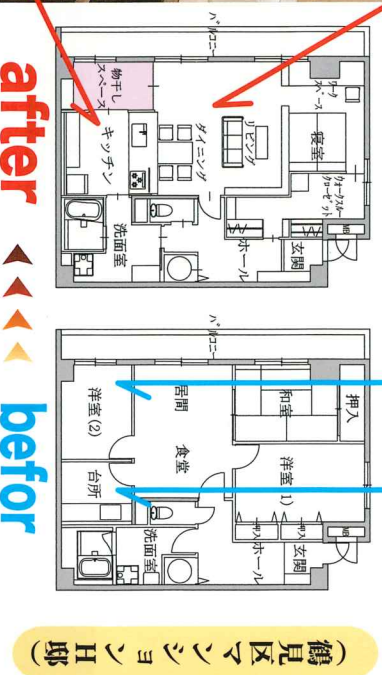


## 間取り変更リノベーション 4つの事例紹介

これから神奈川県下では空き巣・侵入盗が増えています。年数が経ってきた住宅を、どのように生活の場としていくかが、ますます大事なテーマになっていきます。アテリアのある間取り変更と自然素材の活用で実現した「リノベーション」事例を4つご紹介します。

### 001 3つに仕切られていた、洋室・キッチン・リビング ダイニングを、広いワンルームにしました★

● 若いご夫妻がマンションに移り住むにあたり、リノベーションのご相談をいただきました。これまで3つに仕切られていた洋室・台所・リビング・ダイニングの壁を取り払い、広いワンルームにしました。また、北側にあった和室と洋室も壁を取り払い、ワンルーム・寝室・ウオークスルークロゼットにしました。



(鶴見区マシヨンH邸)

● 親御さんから引き継いだ昭和の戸建て住宅。現代のライフスタイルにあった住まいとするため、リフォームのご相談をいただきました。場所を取っていたL字型キッチン撤去し、そこを子どもさんたちとリビングのための学習・ワークスペースにしました。



新勉強部屋 ワークスペース



新ダイニングキッチン



旧DK



before

after



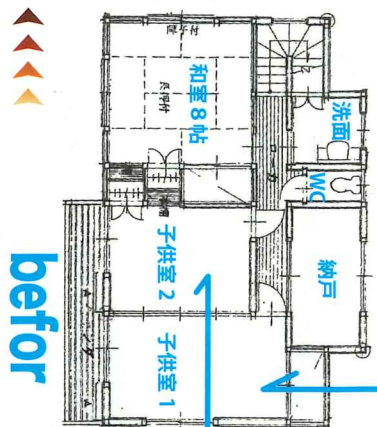
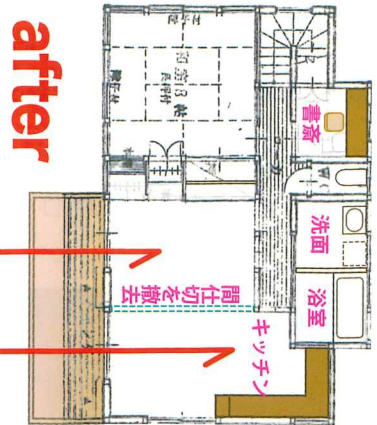
### 002 家族の学習・ワークスペースをつくるために キッチンの場所を変えました

(神奈川区Y邸)





# 今ある建物をいかして、



旧子供室2  
リノベーション前の子供室

ご実家から独立して社会人となられたお嬢さんが、3人家族となり、ご実家に戻って同居されることになりました。2階で二部屋に分かれていた洋間の壁を取り払い、キッチンの新設して広々したLDKを実現しました。併せて、旧納戸スペースに浴室と洗面室を設け、それまでの洗面室は書斎に生まれ変わりました。

**003** リノベーション  
ご実家の2階で子どもさん世帯が同居するための

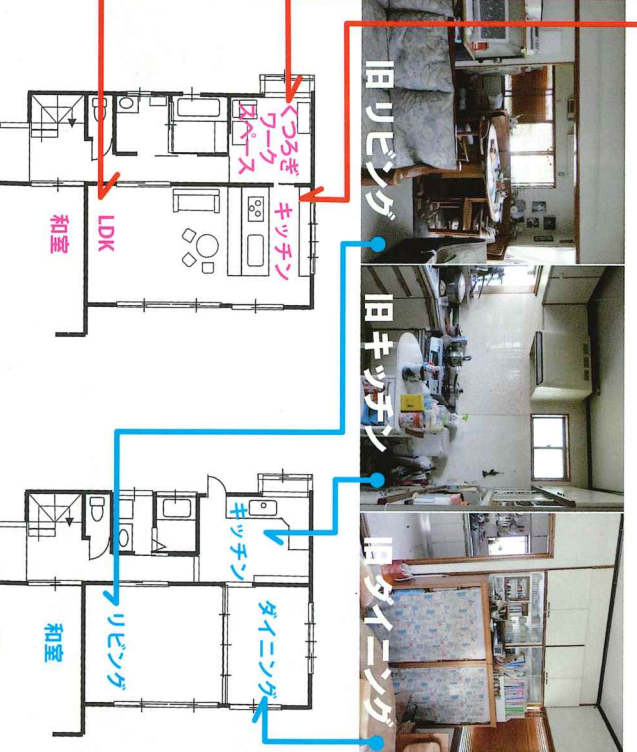


木の面材とタイルで仕上げたアンティークな雰囲気  
のキッチン。壁に小さく採風窓を開きました。



昔の台所はFさんのくつろぎワークスペースに

キッチンから北側のくつろぎワークスペースへ



これまでのF邸1階間取りでは、北側にキッチンが孤立していました。家族がくつろぐリビングとはダイニングルームで隔てられており、みんながテレビを楽しんでいるときに一人孤独に炊事をするのも。そこで、お家のリフォームに合わせて、対面式キッチンを南側に持ってきて広々と明るいLDKを実現。旧キッチンはFさんのくつろぎワークスペースになりました。家族で壁の漆喰塗りをするなど、楽しい共同体験の機会にもなりました。

**004** 南側のLDKに持ってきた  
北側に孤立していたキッチンを、明るく広々した

キッチンが南側に移り、ダイニングとリビングも一緒にになり、  
広々とした明るいLDKになりました





## 子どもモシニアモシガ和む住まいを 設計の力と国産木材で実現する

1面からの  
つづき

### 🏠 設計の力・例えばキッチン

👑愛川町K邸のキッチンは、収納もごみ入れもシンク下からコロコロと引き出して移動することができ、便利です。

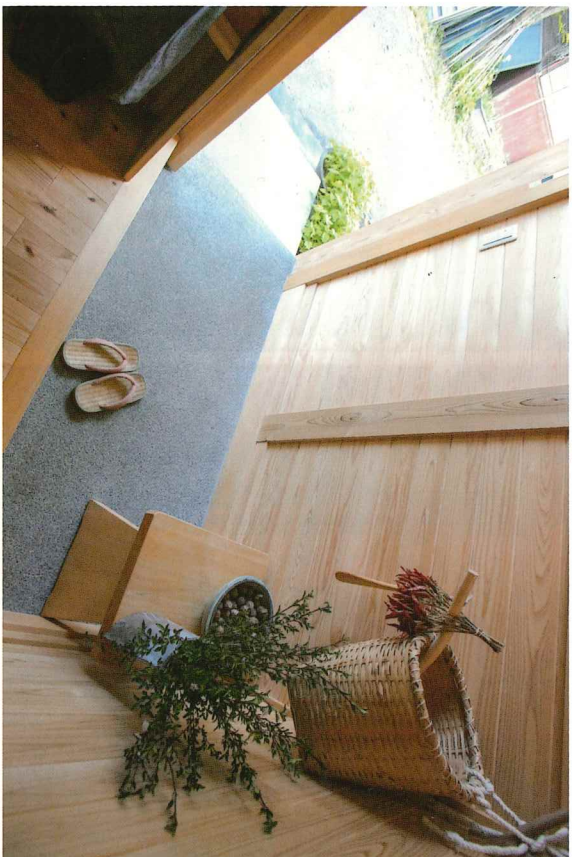


👑相模原市T&T邸の1階キッチンには、側面にも食器が置ける棚がついています。お施主さんのアイデアです。



👑愛川町K邸の玄関は、農作業をする

こともあり、「洗い出し」の土間です。細かな石粒を混ぜて打設し、乾く前に表面だけを水洗いして石粒の頭を出す、土間表面を華やかに彩れる伝統的工法です。将来的に便利だろうと腰掛も造りましたが、今はまだ、収穫した野菜・果物・木の实などの置き場所になって



👑保土ヶ谷区N邸の玄関扉は、建て替え前の住宅に使われていた扉を引き戸として使えるようにしたものです。

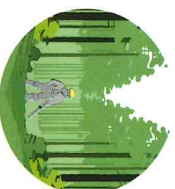


### 🏠 設計の力・例えば玄関

👑港南区T邸の漆喰と無垢の木で構成された玄関。靴を脱いだり履いたりするときのため



### 国産木材の活用



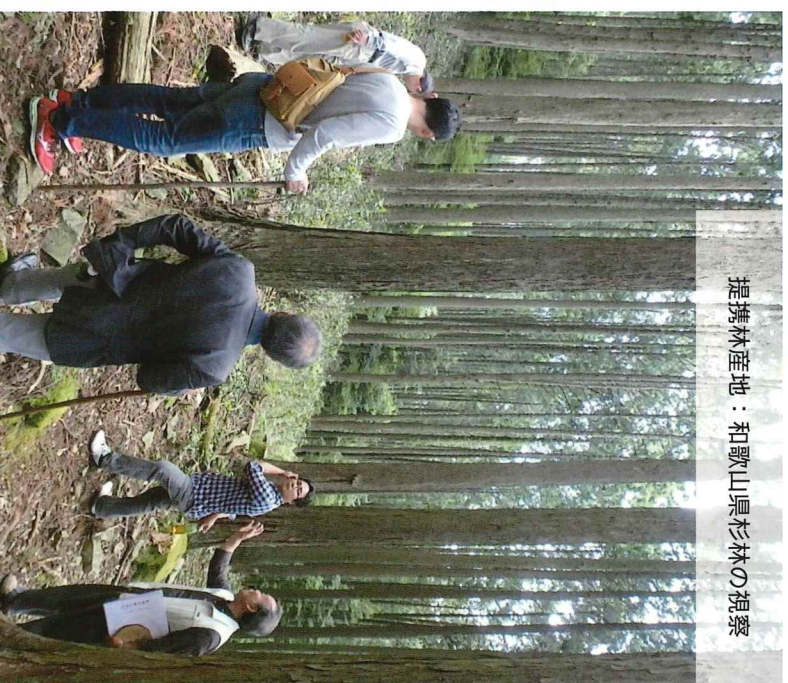
「地球温暖化問題」が益々深刻となる中、木材の二酸化炭素吸収力や建設の際の強度・運送・加工での二酸化炭素排出量の少なさが注目され、今では木造のビルが、ヨーロッパでも日本でも建てられています。木が育つのに時間は時間がかかりますが、木材1トンがつくられる際には、大気中から二酸化炭素1.8トンを吸収し、0.5トンの炭素を取り込んで1.3トンの炭素を大気に戻します。

また、輸入木材を使うよりも国産木材を使う方が、輸送で発生する二酸化炭素を大きく削減できます。例えば、針葉樹1トンを輸入すると、輸送に伴う二酸化炭素が平均で0.25トン発生しますが、国産材の輸送であれば0.05トンで済みます。(一般社団法人グッド

木材は、二酸化炭素を吸収するだけでなく、においや有害化学物質を抑制・分解する力、香り成分で住まい手をリラックスさせる力、調湿機能、音の反響や肌触りなど、人の健康を支える力があることが分かっています。

日本は昔から、スギやノキをはじめ、住宅に使われる木材に恵まれた国で、木材を使った建築技術はヨーロッパの大工たちが驚くほどの高いレベルです。

提携林産地：和歌山県杉林の視察



国内林産地と提携し、国内の資源循環を進め、都市部と林産地とのつながりをつくっていきます。

オルタスケアの新築では、通常の住宅以上に国産木材がたくさん使われ、丈夫な骨組みを作る



大工たちにとっても、無垢の木材を相手にした仕事は心が躍る

住まいや土地のお悩み相談は生活クラブの住宅会社オルタスケアまで ☎ 045 (476) 1105







「地球温暖化問題」の解決、そして有害化学物質問題の解決にとって、国産の木を使う  
に住宅はとても有効です。しかし、それだけでなく、住宅には、住まい手の心豊かな生活  
を支えるという大事な役割があります。「建てておらって十数年住んでいるけれど、今で  
も飽きません」という言葉を、住まい手の方からいただきます。そのような設計つづは、  
住まい手ご家族と設計士との、心を開いたコミュニケーションの中から生まれます。私だ  
ちは、生活つづ生協の住宅部門です。住まい手ご家族の希望と予算とを受け止め、住ま  
いのつづを、ご提案します。営業や勧誘の心配はありません。お気軽にご相談ください。

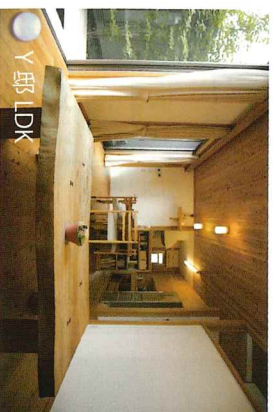
## 設計の力・例えば中庭



左側がお母様の居室の離れ。右側がLDK

ご夫妻とお嬢さん2人と、  
お母様の家族構成だった相模  
原市Yさんご家族。設計プ  
ランの打ち合わせの中から出  
来上がったのは、お母様用の  
離れと家族が集うLDKを、

室内廊下  
と中庭の  
2本でつ  
なぐプ  
ランでした。



Y邸 LDK

そうですね。ご相談から新プランは、  
中庭を設け、緩い階段で2階LDK  
にアプローチするプラン。  
明るいキッチンが実現しました。



2階LDK  
中庭から明るい日差しが入ります



細長い敷地の真ん中に設けた中庭

## 設計の力・例えば階段室



お子さん達の勉強部屋として活躍する中2階

港南区H邸の敷地は前面道路より低い為、  
2階に玄関を設け、1階LDKに降りるプ  
ランです。LDKには高い吹き抜けを設け、  
その周りに中2階を作り、お子さん達がち  
いさな間は勉強部屋として活躍することに  
なりました。

豊島区H邸  
では、シニアの  
ご夫妻が階段の  
上り下りの際に  
左右どちらの手  
でも手すりを握  
れるように、外  
周壁の手摺+仕  
切り壁に工夫し  
た。  
た手摺を付けま  
した。



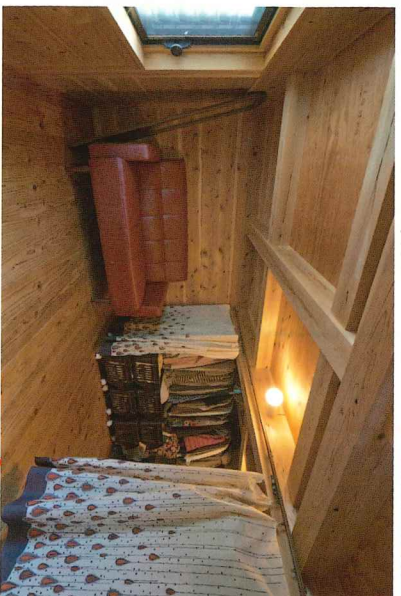
秦野市I邸は、  
丹沢の山々を眺  
望できる場所に  
あります。室内  
からも北側の眺  
望を確保できる  
よう、階段室に  
も大きな開口を  
設けました。

4面へ  
つぱく

## 設計の力・例えば中2階



泉区S邸は、  
1階のLDK  
を見下ろせる  
中2階があり  
ます。こちら  
は旦那さんの  
書斎となりま  
した。造り付  
け机と本棚、  
窓には障子を  
入れ、落ち着いた  
雰囲気で、  
いたすテキナ



多摩区O邸  
の中2階は、  
洋服を収納す  
るクローゼツ  
トのほか、読  
書スペースと  
しても活躍。